

やよい

児童館の 元気な子どもたち



最初は、弥生謡曲教室の四人の方が、「高砂」を声

九時五十分、オープニングセレモニーとして弥生児童館の児童三十五人による踊り(ソイヤ)とフラフープ、けん玉や駒回し、また詩吟(楓橋夜泊)が披露さ

れた。山本館長より、「今日の発表にむけて、日々練習を積み重ねられた努力に敬意を表し、各グループの皆様の練習の成果を楽しみたいし、皆さんも楽しんで下さい。」とあいさつがあり、七教室の発表が開かれた。

最初は、弥生謡曲教室の四人の方が、「高砂」を声

(P4へつづく)

やよい文化祭



◆プレオープニング 9:50-10:00◆

児童館子どもたち
踊りフラフープ 詩吟 けん玉

◆ステージ 10:00-12:00◆

謡曲 オカリナ演奏
石川公美さんホストレーニング
弥生コーラス 夕顔ダンス
弥生俳句教室 詩吟

◆模擬店 10:30~高砂まで◆

パザール
わんぱくめいぞう
みんま サンドイッチ 和菓子
手作り品 防災グッズ etc

◆抹茶席 11:00~高砂まで◆

平成24年

11月3日(土・祝)

午前9時50分~午後2時

弥生公民館

(241-1329)

弥生校下やよい文化祭実行委員会



見て貰おう・知って貰おう・楽しんで貰おう

高らかに一糸乱れず、みごとに謡いあげた。オカリナ教室は素朴な音の響きに、遠い昔に帰った懐かしさを感じ、「ふるさと」などの五曲があつと言う間だった。つづいて石川公美先生と二十人による「帰れソレントへ」が熱唱され、ボイストレーニングも行われた。先生の声の力とエネルギーが、先生の手で会場が一体となり、皆で「紅葉」を合唱。とても爽やかな気持ちになった。

弥生コーラスは、いつもながら、うっとりするすてきなハーモニーで「いのちの歌」など三曲が披露された。

吉岡美智子先生の手話ダンスは初めて見る人も多く、気持ちを込めたしなやかな手指の動きがとても優雅で、まるで歌っているようだった。

弥生俳句教室はスクリーンに俳句を映し、北陸岳水会の会員が朗詠する初めての試みで、会場はシーンと静まり返り、感動し聴き見とれていった。

最後に、北陸岳水会の有弥会による詩吟「九月十三夜」が朗詠され、弥生文化祭にふさわしい充実した舞台発表が終了した。

初登場の オカリナ教室



手話ダンス 披露



俳句と詩吟の調利



準備完了 みんなを待つ公民館

